

[成果情報名] キンギョソウの年内開花後の夜温管理による 3 月開花栽培法と適品種

[要約] キンギョソウは、1 番花を収穫後に夜温を 15℃ に上げ、発蕾まで管理することにより 2 番花の花芽分化を促進し、3 月に開花させることができる。「カリヨンサーモン」、「アスリートイエロー」、「メリーランド ライトピンク」は、この栽培法に適する。

[キーワード] キンギョソウ、夜温管理

[担当] 総合農林試験場・野菜花き部・花き科

[連絡先] 電話 0957-26-3330、電子メール arakabu@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 花き

[分類] 普及

[背景・ねらい]

キンギョソウは、県内では 1 番花を年内に収穫すると、2 番花は 4 月以降に開花する。そこで、価格の安定した 3 月に 2 番花を収穫できる加温法の実証とこの栽培法に適する品種選定を行う。

また、2 番花収穫終了後の 4 月以降 8 月までの 5 ヶ月間を活用して後作を導入し、施設の有効利用を図る。

[成果の内容・特徴]

- 1 . 1 番花収穫後、1 株当たり 2 本に整枝を行い、その後、最低夜温を 15℃ に上げ、花芽分化を促進することにより、2 番花を 3 月に開花させることができる (表 1)。発蕾終了後は徐々に夜温を下げ、品質向上を図る。
- 2 . 3 月の切り花長は長くなり、品質は良好である (表 1)。
- 3 . 「カリヨンサーモン」、「アスリートイエロー」、「メリーランドライトピンク」は、この栽培法に適する (表 1)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 . 1 番花は、2 番花となる芽を確保するため、下位の 1 節 (2 芽) を残して収穫する。
- 2 . 供試品種以外では、早生品種がこの栽培法に適すると思われる。
- 3 . ネットは、1 段でよい。
- 4 . 2 番花収穫終了後の 4 月以降 8 月までの 5 ヶ月間を活用して後作を導入し、施設の有効利用を図る。

[具体的データ]

表 1 時期別、階級別切り花本数

品 種	月	開花最盛期	階級別切り花本数 (40 株当たり)				計	10a 本数
			3 L	2 L	L	M		
加ヨサモン	12	12/4 ~ 15	7 本	34 本	34 本	20 本	95 本	57000 本
	1		0	0	0	0	0	
	2		0	0	2	1	3	
	3	3/16 ~ 24	21	29	14	1	65	40800
		計	28	63	50	22	163	97800
アストイロ	12	12/6 ~ 15	32	41	7	0	80	48000
	1		0	0	0	0	0	
	2		0	0	1	0	1	
	3	3/24 ~ 31	29	26	9	2	66	40200
		計	61	67	17	2	147	88200
メリラント [*]	11		0	5	40	5	50	
ライトソウ	12	11/27 ~ 12/1	9	31	18	1	59	48000
	1		0	0	0	0	0	
	2		0	13	7	0	20	
	3	2/28 ~ 3/3	10	53	8	0	71	40200
		計	19	102	73	6	200	88200
メリラント [*]	12	12/9 ~ 15	34	38	8	1	81	
アップル [*] ロサム	1		3	0	0	0	3	50400
		計	37	38	8	1	84	50400

注 1) 3 L : 90cm 以上 2 L : 80 ~ 90cm L : 70 ~ 80cm M : 60 ~ 70cm

注 2) 「メリラント^{*} アップル^{*}ロサム」の 2 番花は 3 月までの調査期間中には開花しなかった (栽培打ち切り) 。

耕種概要

播 種	2002 年 8 月 20 日	288 穴トレイ、用土：プラグミックス (タイプ 3)	
定 植	2002 年 9 月 10 日	12 c m、6 目、中 2 条抜き 4 条植え (24000 本/10a)	
摘 心	2002 年 9 月 25 日		
加 温	11 月 9 日 ~	10	
	11 月 27 日 ~	13	
	1 月 6 日 ~	15	
	1 月 20 日 ~	10	発蕾終了、草丈 20cm
	2 月 7 日 ~	8	
施 肥	全量元肥	I B S - 1 (10-10-10) 200kg/10a N、P ₂ O ₅ 、K ₂ O = 20.0、20.0、20.0kg/10a	

[その他]

研究課題名：施設花きの低コスト・省力生産技術確立

予算区分：県単

研究期間：2002 ~ 2005 年度

研究担当者：出口 浩、松尾崇宏